

学校教育目標	1 学習意欲と学習力のある生徒の育成をめざして、自ら考え、自ら学ぶ力を育みます。(知) 2 公共心を持った生徒の育成をめざして、お互いを認め合い、思いやる心情を育みます。(徳・公・開) 3 健やかな心と体の生徒の育成をめざして、なにごとにも意欲的に取り組む姿勢を育みます。(徳・体)				
	学校概要	創立 51 周年	学校長 上田 篤也	副校長 増田 健二	2 学期制
児童生徒数: 729 人		主な関係校: 倉田小学校 豊田小学校 小菅ヶ谷小学校 東戸塚小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○夢や目標の実現に向け、自らの可能性を伸ばそうと努力する姿勢 ○将来に向け、社会の一員として必要な資質や能力を身に付けようとする姿勢 ○自ら課題を見付け、その解決をよりよい形で追究しようとする姿勢 ○様々な生き方に学び、自らの生き方を見つめ、自らの生き方をつくらうとする姿勢	豊田中学校 倉田小学校 豊田小学校	自ら考え、自ら学び、人やもの・地域と豊かにかかわり合いながら共に輝く児童・生徒の育成 ○教職員の授業交流会や合同研修会、情報交換会を定期的に開催し、ブロック内の小中学校の一貫カリキュラムの推進に努める。 ○生徒会活動や部活動を通じた児童生徒の交流を積極的に進め、子どもたちが安心し、期待感をもって中学校に進学できるように努める。

中期取組目標	「すべての教育活動を子どもの成長と将来の幸せのために」を基本理念とした学校づくりを目指します。 ○生徒一人ひとりの個性や能力を理解し、その伸長を図ることに努め、誰もが安全に安心して心豊かに生活し、豊田中学校の生徒として誇りをもてるように学校づくりを進めます。○生徒が人として豊かに、そして健やかに学び育つことができるように、教育活動の展開や教育環境づくりを大切にして学校づくりを進めます。○生徒や保護者、地域の方々の要請や信頼に誠実に応える姿勢を大切にし、加えて家庭や地域とのよりよい連携や協働を生かして学校づくりを進めます。○教職員一人ひとりが自らの特性や能力を生かすとともに、相互の連携や協力により教育力を発揮する方向性を揃え、チームとして指導・支援することを大切にして学校づくりを進めます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	○「何を学ぶか」とともに「どのように学ぶか」という学び方を重視し、「主体的・対話的で深い学び」の実践を進める。○「生徒指導の機能を生かした授業づくり」に全校で取り組み「出番のある授業」の実現を目指す。○生徒の授業評価や学力調査等を生かして授業力の向上に努める。
担当 指導部・総務部	
豊かな心	○道徳教育や人権教育、福祉教育、情報モラル教育の充実に努める。○道徳科の学びを柱として道徳性や判断力、道徳的実践力を育む。○人権講演会、人権作文、ボランティア活動、体験的学習、地域活動、朝読書、特活での主体的な取組を生かして豊かな心を育み自尊感情を高める。
担当 総務部	
健やかな体	○健康教育や安全教育の充実に図り、健やかな体づくりや生命尊重への意識の向上を図る。○保健学習や体育的行事、部活動等での学習や活動の充実に組織的に図る。○生命尊重に関する教育や、薬物乱用、食育等の現代的な課題の解決を重視した取組を計画的に推進する。
担当 指導部	
生徒指導	○情報共有を組織として進め、チームで生徒指導を進める。○相談活動の充実や関係機関との連携を図り、課題については迅速に共通理解し組織的な対応を図る。○対処的な生徒指導だけでなく、生徒自身の判断力を確かなものにしていけるように「積極的な生徒指導」を推進する。
担当 指導部	
特別支援教育	○組織的に情報共有を進め、関係職員、関係機関や医療機関との連携を図る。○不登校生徒の学校内での居場所づくりを大切にする。別室登校については、教室に行くことを目標に組織的に対応を進める。○個別支援学級と一般学級の生徒との交流や共同学習をねらいを明確にして進める。
担当 指導部	
地域連携・学校運営協議会	○保護者や地域の方々との信頼関係の構築を大切にし、学校運営への参画を積極的に進め、開かれた学校づくりを進める。○PTA活動や学校運営協議会の組織を生かして教育活動への協力体制を整え、教育環境の充実に努める。○学校だよりを中心に広報活動の充実に努める。
担当 総務部	
安全管理・教育環境整備	○管理職、事務職員、技術員とが連携を図り、施設の安全管理・教育環境の整備に努める。○地域防災拠点委員会との連携を図るとともに、避難訓練、安全点検、職員研修を計画的に実施する。○生徒への指導については、学級指導や生徒会指導、部活動指導等、必要に応じて進める。
担当 総務部	
	c8
担当	
いじめへの対応	○全職員が見守り意識を高くもち、日頃から情報交換と情報共有を大切にし、チームとして迅速に対応する。○いじめ防止対策委員会を中心に、いじめの情報交換、今後の対応、経過状況を組織で検討・確認し、再発防止に努める。○生徒会の取組を生かして生徒の判断力を高めたい。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	○OJTが進むように校内研修を進め、日常業務で組織的な取組を大切にする。○学校評価を生かして組織運営の改善を図る。○学年会や教科会の充実に図り、経験や特性に応じて互いに指導・助言を行う。○組織運営の効率化、情報交換、意見交換の充実に努める。○働き方改革は、実態に応じて改善可能な課題に迅速に取り組む。
担当 総務部	